



5月に発生した

能登半島(石川県)の大地震

震源の真上に建設予定 だった「^{すず}珠洲原発」

5月5日、石川県の能登半島でマグニチュード6.5の地震が発生しました。石川県珠洲市の最大震度は「6強」。1名の方が亡くなり、30人以上がケガ、多くの家屋に被害が出ました。この大きな地震の震源地とほぼ同じところに、「^{すず}珠洲原子力発電所」を建設する計画があったことをご存知でしょうか。

^{すず}珠洲原発は、北陸電力・中部電力・関西電力の3社で運営することが予定され、1975年に計画が浮上しました。135万キロワットの大型原子炉2基で、2014年に運用を開始する予定でした。しかし、住民の反対運動や用地買収が進まなかったこと、電力需要の低迷などから、28年後の2003年、建設が中止されました。建設予定地や周辺に断層が存在すると指摘されていましたが、地震が起きる可能性を理由に建設をやめたわけではありません。その予定地のほぼ真下で大きな地震が起きたのです。^{すず}珠洲原発が計画通りに建設され、核分裂している原子炉の真下で、今回のような大地震が起きたらと思うとゾッとします。原発が無傷で耐えられたとは思えないからです。

多発する地震、原発は最大のリスク

地震が多発しているのは、能登半島周辺だけではありません。東北・関東の太平洋側など、各地で地震が起きるたびに、巨大地震が起きるのではと、心配になると思います。原発をつくる時、地震を引き起こす「活断層」が下にあってはいけない、というのがルールです。しかし、どうしても原発を動かしたい電力会社は、石川県の志賀原発や福井県の敦賀原発で、原子炉の下にあるのは「活断層」ではない、と言い張って、再稼働にこぎつけようとしています。12~13万年前以降に動いたことのある断層を「活断層」と言いますが、規制委員会で地震を担当していた島崎邦彦・元委員長代行は、電力会社とは逆に、40万年前までさかのぼるべきだと主張していました。

また、今わかっている断層だけが危ないのではありません。まだ、見つかっていない断層、地震の後に地表に表れる断層もあり、断層だらけの日本では、いつ、どこで大地震が起こっても不思議ではありません。

【裏面につづく】

全造船関東地協労働組合
よこはまシティユニオン

〒230-0062 横浜市鶴見区豊岡町 20-9-505
TEL&FAX 045-575-1948
E-mail yuniyoko@d2.dion.ne.jp

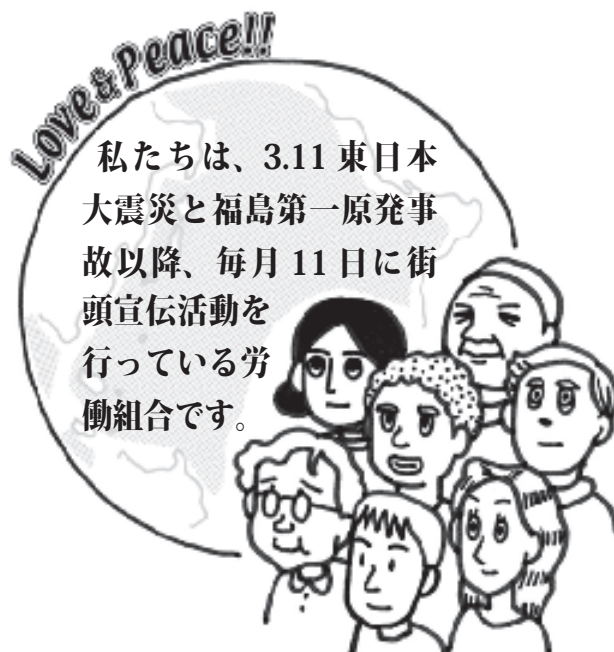


稼働から 60 年以上の老朽原発 地震のリスクが、より高くなる

原子力規制委員会は、原発が「規制基準」に適合しているかどうか、だけを判断します。本当に大丈夫なのかと聞かれると「安全を保障するものではない」とくり返しています。5月31日、このように、国の規制委員会も安全を保障できない原発を、稼働から60年を超えても使い続けられるように、国は法律を改正してしまいました（GX脱炭素電源法案/原子力基本法）。老朽化し、設備が劣化した原発が、何回か大きな地震に耐えたとしても、ダメージが溜まり、事故につながるリスクは、より高まっていきます。巨大な地震が発生する確率そのものも高くなります。

地震大国日本と原発は共存できません。地震などの自然災害で原発が事故を起こさないことを“願う”しかない社会ではなく、1日も早く原発をやめ、安全で豊かな自然エネルギーを生かす道を選ぶべきだと思います。

【組合員 N】



■ 故長尾光明さんの闘いを胸に

よこはまシティユニオン組合員の長尾光明さん（故人）は福島第一原発で働き、被ばくが原因で退職後に多発性骨髄腫（血液のガン）を発症し労災認定されました。損害賠償を求めて東京電力を相手に裁判を起こしましたが、東電は労災認定はおろか病名すら否定。裁判所も長尾さんの請求を棄却しました（最高裁 2010 年 4 月）。

■ 原発で働く労働者と共に闘います

原発は電力会社を元請とした 4～8 次の下請会社で稼働しています。3.11 以降、多くの労働者が福島第一原発の収束作業に関わり、被ばくを余儀なくされています。東電福島第一原発の収束・廃炉作業や九電玄海原発の定期検査に従事し、被ばくが原因で白血病になったあらかぶさん（40 代男性）は 2016 年 11 月 22 日に東京電力と九州電力を相手に損害賠償を求めて提訴し闘っています。ぜひ多くの皆さまのご支援をお願いします。

■ 職場の問題、いつでもご相談を！

東日本大震災や原発事故を忘れないため毎月 11 日に街頭宣伝活動を始めて 12 年目になります。労働組合としてできる事は何かをいつも考えています。「福島どころじゃない」「自分の仕事と生活が大変」という方もいるでしょう。そんなあなたこそ、あきらめる前に一度ぜひ職場の問題をユニオンに寄せてください。一緒に解決しましょう！

【2023 年 6 月 11 日】